

モーターヘッド

MOTORHEAD WHEELBOOK III

ホイールブック・III



車輪性能至上主義。
ホイール

掲載モデル

約 **360** 本

世界最新情報
完全網羅!!

The Latest Fashion of Wheel Matching



ホ

イールの大口径化は加速する
 いっぽうだ。ひと昔前なら走行性能を度外視したような設定が、今じゃ涼しげな顔してメーカー純正サイズとして採用される。スーパースポーツの世界もまた然り。レーシングユースなら今も18、19インチが中心であるものの、ことストリートに焦点を当てると20インチオーバーが当たりまえとなった。

そうしたスーパースポーツ勢を狙い撃ちしたかのような銘柄がハイパーフォージド製のHF-LC5だ。例えばここにあるアヴェンタドールLP700.4。メイド・イン・ジャパンの鍛造力を活かして生み出される鋭利なその造形は、清々しい新緑のような雰囲気を感じさせる肉体と見事にマッチする。

装着されるのはフロント21インチ、リア22インチ。それぞれ255/30ZR21、335/25ZR22のピレリP ZEROが組み合わされる。既存のアヴェンタドールカスタムの多くはフロント20インチ、リア21インチであることを考えると、前後ともに1インチアップとなる。たかが1インチ、されど1インチ。この大口径化は確かにヴィジュアル的に効いている。HF-LC5固有の造形美も手伝って、自然にまとまりながらも唯一無二の個性を發揮している。単に見た目の迫力のみならず、車両を製作したオートブラザダンの巧みなセッティング術が相まって、本気で踏み倒せて速い仕上げになっているの。ファースト製のブッシュロッドを活かしつつ車高やキャンバー角度の調整、フェンダーライナー

の微加工などを経て、自然とそこに収まる21、22インチの完成度は予想以上に高い。

もちろんマッチングは一筋縄とはいかなかったはずだが、そうした挑戦へのモチベーションを支えたのは、やはりハイパーフォージドの美しさによるものだろう。いかなる世界をも魅了させるハイパーフォージドの魅力も、改めて感じさせてくれる見事なパッケージングである。

Glamorous
 RF⁰⁵
 22 21、
 の魔力。

アヴェンタドールカスタムが盛り上がる最中で前後の大径ホイール化に挑んだこの1台。フロント21インチ、リア22インチという設定は、ハイパーフォージドだからこそ成し得た妙技だ。

Hyper Forged

HF-LC5 × Aventador

ディスク面をブラッシュド・サイドポリッシュ&アナダイズド・ライトブロンズに、インナーリムをマットアナダイズド・ブラックとしたコーディネートも巧い。ボディカラーのほか黄色いキャリパーとも調和している。

Hyper Forged HF-LC5
 SIZE: 7.5J×19～14.0J×22
 PRICE: ¥135,000～¥347,000



車種に合わせて考える
ブランドディングコーデ。



Precisione
KTR
LS
Hyper Forged
HG-LC5
\$550

Wheel Recipe
No.3

井口拓也のレシピ

EC.SPEC

アジオ・プレジジョンネKTR (9.5x22)でレクサスLSをシンプルリッチに磨く。新時代の豪華一点主義を標榜する卓抜のブランドチョイスであり、インナーリムまで施工された特注フルブラッシュドが品格すら照らし出す。



ハイパーフォージドHC-LC5 (9.5:11x22)で精悍な足元を訴求。黒々した四肢にきらりと浮かぶクロームピアスを強調するための色技が純正パーツ各部に駆使され、かつホイール装着ボルトにマットシルバー塗装を施す徹底ぶりだ。

それが成功への近道です」
そんなカリスマが推奨するのが、ハイパーフォージドとアジオ・プレジジョンネという二大巨頭ブランドの採用。イマドキな味わいを宿す3ピース鍛造の雄と、上級者にジャストな2ピース鍛造の雄をいかに鮮度高くインストールするか、そこにECスペックが今年掲げる「ブランドディングコーデ」の妙味があるのだ。
例えばS550が履きこなすハイパーフォージドHC-LC5。黒々とした質感を誇るグロスブラック/アナダイズドグロスブラック/クロームピアスポルトを際立たせるために、窓枠やエンブレムといった純正パーツの輝きをダウンさせる。
また、LSは豪華一点主義よろしく、あまりレクサスへの装着例がないプレジジョンネKTRの特注フルブラッシュド仕上げで勝負。1ピース風のそのフォルムを活かすため、インナーリムまでブラッシュ加工。
「加えてタイヤの選択も重要。銘柄でも違う特色選びとJ数によってクルマのバランスも大きく変わります。言ってみれば画竜点睛ですね」
真逆のベクトルを放つ2強の性格を巧みに利用した玄妙過ぎるビッグセダンのホイール演出方法であり、眺めていて清々しい。

「鍛造ホイールは
ブランドチョイスが大事」



福岡の名門輸入車専門店、ECスペックを切り盛りする井口拓也。ホイールとタイヤにとことんこだわる正統派ながら、柔軟な発想とアイデアをビッグセダンを持ち込んでシーンに新風を巻き起こしているのだ。

Text: 堀口 訓 Satoshi Horiguchi
Photo: 小林邦寿 Kunihisa Kobayashi
問い合わせ/EC.SPEC
☎092-406-1414 www.ec-spec.jp